

分室開院 ケア&ホワイトニング

2月1日、一階入口横に分室「ケア&ホワイトニング」を開院いたします。名前の通りホワイトニング(歯の漂白)を含めたケア(予防)のための診療室で、矯正治療、一般歯科治療の後のメインテナンスやブラッシング指導などを行ないます。キュア(治療)からケア(予防)への意識の変化は世界的な流れですが、当院のケア&ホワイトニング室は、その流れを先取りしたシステムといえます。今後この分室がより快適な空間に育つには、ご利用いただく皆様方の声が大変貴重です。ご意見ご感想をお待ちしています。

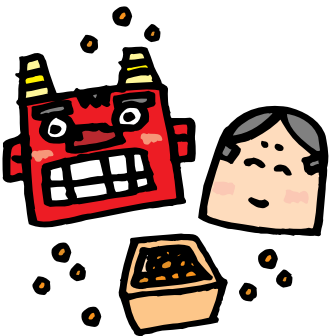
アンチエイジング 長寿遺伝子

寿命は遺伝に関係がありそうだと同書きました。世界中の研究者が長寿遺伝子の発見にしのぎを削ってきましたが、2004年、マサチューセッツ工科大学のガレンテ教授がSirtuin(サーティワン)遺伝子が人間の老化に關与する主要な遺伝子らしいことを解明しました。ちなみに「下にアイスクリームと付けると名前を覚えやすい」とは、解説者からのアドバイスです。

現在のアンチエイジング医学の中で科学者がほぼ一致して認める理論にカロリー制限があります。実験的に摂取力

ひるまだより

2008.1 vol.19



医療法人 ひるま矯正歯科 Hiruma Orthodontic Office

川崎市曙町2-9-1菊屋ビルディング2F TEL:042-526-3376/FAX:042-528-1102 URL:http://www.hiruma.or.jp/

スタッフ・リレーエッセイ



歯科医師(矯正専門医) 松原 大樹

皆さんはじめまして。1月より非常勤で勤務させて頂いていただいている松原大樹です。私は現在、康明先生も在籍しておられた新潟大学歯学総合病院の歯科矯正学講座に籍を置き矯正歯科に関する研究及び臨床に励んでいます。大学院では「顎変形症患者における三次元運動解析について」の研究を行い学位(博士号)を取得しました。私は高校卒業までは岐阜県、大学時代は愛知県、大学院か

ら現在までは新潟県と住居を移してきたため私の発する言葉は、岐阜弁はもちろん、名古屋弁、なぜか関西弁、そして新潟弁の影響を受け、つい私独自の言葉妙なイントネーション(音)が出来上がってしまいました。私が何弁を話しているかわからない時は「それは何弁?」と気軽に聞いて下さい。矯正治療は見た目の美しさの向上はもちろん、かみ合わせを良くし、健康な歯と歯肉を生涯にわたって維持していくことが大きな目的の医療です。私たち歯科医師が適切な矯正治療を提供することにより皆さんのクオリティオブライフ(人生の質)向上のお手伝いのできればと思っています。よろしくお願いたします。

ロリーを65%ぐらいに抑える と、ほとんどの生物で寿命が延びることが確認されています。実際、線虫や酵母菌などの長寿遺伝子(Sirtuin)は、カロリー制限によって活性化されることが分っています。しかし哺乳類の長寿遺伝子Sirtuinを活性化させるために、人間に65%ものカロリー制限をして健康面、栄養面で大丈夫かという問題があります。第一、カロリー制限は楽しくありません。美味しいものを普通に食べて健康で長生きしたいと誰もが思うはず。2006年、教授はクギを刺しています。

ヒルマツキオのホットニュース

褒めてやらねば

昨年の秋、鹿児島県の海上自衛隊鹿屋航空基地史料館を訪ねる機会がありました。旧海軍航空部隊の興亡の軌跡をつぶさに見ることができました。海軍の総帥としてリーダーシップを發揮した山本五十六の人間性に以前から関心があったこともあり、特にその史料を丹念に追いました。その山本五十六が説いた有名な言葉に「褒めてやらねば人は動かじ」というのがあります。実力と思いやりがなければ部下は動かないと説くこの言葉は、海軍大將が下士官らに示した部下教育の神髄といわれ、今もこれを座右の銘とする経営者は少なくないといわれています。組織を動かす本質的な内容を含むというこの言葉の意味をもう少し掘り下げて考えてみましょう。ここで使う上司を経営者、指導者あるいは両親に、部下を社員、生徒あるいは子供に、それぞれの立場に応じて読み替えるのがかりやすいと思います。まず上司がやってみせる：部下は上司の率先垂範の行動から基本的な形を学びます。説教や口先ばかりでは部下の脳裏に焼き付けることはできません。

解りやすく説明する：上司は、行動となる基準を日常的に解りやすく説いていかななくてはなりません。一回ではなく日常的に、かつ解りやすく言って聞かせることが必要です。自発的にやることの後押しをする：部下が考え方を理解したら、ともかくやらせてみないと身に付きません。このとき上司は心もとなさを抑え、じつと耐えなければいけません。褒めてあげる：部下がやった試みを、結果はともあれ褒めてあげること。たとえ失敗したとしても、努力を褒めれば次のトライを勇気づけます。逆にここで叱ると、部下はリスクを冒してまで自分でやることをやめてしまいます。さて翻ってわが身を省みると、やれ歯を磨け、もつとゴムを使い、と患者さんに文句ばかり言ってきたように思います。世のお母様方もお子様の日常生活を、山本五十六のこの言葉を思い出しなが見守ってはいかがでしょう。

1月23日(水)はISO取得審査のため、診療時間と患者数がかなり制限されますので、ご迷惑をお掛けするかもしれませんがご了承ください。2月29日(金)はISO取得審査のため一部休診します。松原大樹先生(矯正専門医)：毎月第4土・日に矯正診療をお手伝い頂きます。